

21 奈良野鳥の森

—かわいい鳥と友達になれそうです—

拝復 昨年4月スタートの3歳児保育も順調に経過し、子どもたちが見違えるように大きく成長したというお手紙、とてもうれしく拝見しました。

さて、その3歳児クラスの子どもたちが幼稚園の西側の池でカイツブリを発見して「園長先生、きょうはカイツブリたくさんいるよ」「お母さんカイツブリと子どもカイツブリがいっしょに遊んでたよ」と報告に来てくれるという話、自然の変化に気づき、しっかり観察し、それを自分なりの言葉で表現できること、素晴らしいですね。きっと毎日の保育活動の成果なのでしょう。

私の家から少し東に行ったところの池にもいつも10数羽がいるようです。もぐったところから相当はなれたところに浮かんでくるのが面白くて、子どものように「今度はあのあたりに出てくるかな」などと予想して遊んでいます。

でも、野鳥については知らないことがいっぱい。「野鳥についての勉強ができれば…」と、久しぶりに、13種類、230羽の野鳥がいるという「奈良野鳥の森」に行ってきました。その中のいくつかを紹介しましょう。



① ショウジョウトキ

体長約60cmの鳥で、全身が朱赤色でひときわ目を引く美しい鳥で

す。奈良野鳥の森では毎年繁殖し、現在日本一の羽数だそうです。

名前のもとになったショウジョウは猩猩、猩々などと書く中国の想像上の動物で、お酒が大好き、赤い顔をしていると言われています。



そんなことからこの派手な赤い鳥にショウジョウトキという名前が付けられました。赤とんぼの1種にショウジョウトンボという名前が付いているのと同じです。

いっしょに行った妻が「あの同じ形で茶色の鳥は何？」と言うので、近くにおられた係りの人に「あの鳥の名前は何かというのですか」と尋ねたら、「あれはショウジョウトキの子どもです。2年目くらいから赤くなるのです」とのことでした。気になることは聞いてみるのが大切ですね。

② シロクジャク

シロクジャクは16世紀にヨーロッパでつくられたもので、頭の上に扇状の冠があり、純白の体にレースのような飾り羽を持っています。雄は飾り羽を広げると2m以上になるということでシャッターチャンス待ち



ましたが、残念ながらその素晴らしい姿にお目にかかることはできませんでした。

ところで、先日の新聞では、鳥インフルエンザの流行で来園者が激減し、運営費がまかなえないことなどから行財政改革の1つとして、この野鳥の森も、閉園が検討されているということでした。今のうちにお出かけになってはいかがでしょうか。敬具

(やまと・平成20年3月号所載)

スポットの案内

野鳥の森は、奈良市左京5-3-1の奈良市総合福祉センター内にありましたが閉園されました。こうした施設の少ない奈良県ですから、とても残念ですが、もともと野鳥は自然の中で見るべきものなのでしょう。

理科のワンポイント「あなたの愛鳥度は？」

財団法人日本鳥類保護連盟という団体があります。野生の鳥や獣についての科学的な知識と鳥や獣を保護しようとする心を育て、自然環境を守り、みんなの生活環境、社会文化、そして、情操教育の向上と農林水産業の振興に役立てようという目的で設立された団体です。

こうした活動の1つに5月10日から16日の愛鳥週間があり、連盟では、その啓発活動に使うポスターの募集をしています。ほかに、人々の愛鳥度を知るためのテストも作っています。



以下は、野鳥の森でいただいていた「あなたの愛鳥度は？」というパンフレットからの紹介です。

このテストは準備された 10 個の場面で、あなたがどんな行動をするかを尋ね、あなたの愛鳥度をチェックしようというものです。次にあげたのはその質問のいくつかです。あなたは A, B, C のどんな行動をしますか。答えてみてください。

質問 2 野鳥の巣を見付けたら？

A 持って帰る B そっとしておく C 雨にぬれないよう屋根をつくる

質問 3 羽根が落ちていたら？

A アクセサリーにする B 羽根ぼうきにする C ひろわない

質問 4 ヘビが巣の中の卵をねらっていたら？

A 追い払う B 写真を写す C そのままにしておく

質問 6 庭に来る野鳥にエサをやる期間は？

A 一年中 B 夏だけ C 冬だけ

さあどうでしょう。

質問 2 の答えは B です。これについては次の説明があります。心やさしいあなたなら、屋根をつくってやるかも知れませんが、そんなことをしたら、外敵に巣のある場所を教えるようなもので、鳥にとっては迷惑なことです。そのままにしておきましょう。持ち帰りはやはり法律違反です。

質問 3 の正解は C です。鳥好きのあなたが羽根でかざりたい気持ちは分かりますが、アクセサリーにすることがブームになったらどうでしょう。そうやって、昔、たくさんの鳥がいなくなったからです。自

然を大切にという立場から見れば、捨わないでそのままにしておけば良いのです。それはやがて土となり植物の栄養となって再生していきます。

質問4の答えはCです。これについては次の説明があります。

ヘビも自然の仕組みを作っている大切な一員です。残酷だと思うかも知れませんが、そのままにしておいてください。「食う・食われる」という食物連鎖も、自然にとっては必要な掟なのです。

質問6の答えはCです。これについての説明は次のとおりです。

野鳥が好きで心やさしいあなたなら、1年中エサをやりたいと思うでしょう。しかし、過保護は自然の生き物にとってはかえってマイナス。夏の間はエサが豊富ですから、与える必要がありません。エサが少なくなる冬だけが、野鳥にスタミナを与えるためにも大切な期間です。

こんな問題が10問、あなたは何問正解できるでしょうか。8問以上正解ならば、愛鳥度はAです。そして、「あなたは『自然の心』を理解する素晴らしい方です。あなたのような日本人がたくさんいれば野鳥たちにとっても、もっと美しい自然がよみがえり、ヒトとトリが仲良く暮らしていけることでしょう」という評価がいただけます。